

目標達成計画

作成日: 平成26年1月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	利用者との座談話を聞いたり会話する時間がとれない。個別支援も意見の強い人優先に傾いている。	相手の立場に立ち十分話を聞いて居られる時間を持つようになる。	与座でも10分でも時間を作り利用者との目線を合わせて相手と会話する姿勢をとる。	6ヶ月
2	35	いかに災害を想定して訓練の実施ができていない。地域との訓練の実施方法の検討が必要。	災害時における避難訓練を実施する事で安全な避難誘導ができるようになる。	いかに災害を想定し避難誘導の方法、集合場所や経路の確認をし、職員で話し合いを繰り返す。	10ヶ月
3	15	初期入所時には身体状況の把握が優先しがちで利用者との話を十分聞く事が困難である。	本人の思いや不安な要望を把握して本人の不安の解消ができるようになる。	案内調査票、居残りでの調査を確認して分らないところは本人との会話の中で思いをくみ取りたい。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の趣を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。